

● 平成 31 年／令和元年（2019 年）の世界の主な火山活動

平成 31 年／令和元年（2019 年）に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）* は以下のとおり。

ストロンボリ（Stromboli） イタリア 標高 924m

7 月 3 日に爆発的噴火が発生した。この噴火に伴い、噴煙が山頂から 4 km まで上がり、溶岩の流下や噴石の飛散が発生したほか、火砕流が発生し海に達した。この噴火で観光客が 1 名死亡し、複数のけが人が出た。その後も溶岩の流出や爆発など活発な噴火活動が継続した。

ホワイト島（White Island） ニュージーランド 標高 294m

12 月 9 日に噴火が発生し、噴煙が火口上 3.7km まで上がった。この噴火による死者は 17 名に達し、2 名が行方不明となっている。噴火後は、地震活動は低下したが、活発な噴気孔からの蒸気と泥の噴出が続いた。



図 平成 31 年・令和元年（2019 年）に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”（http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm）、インドネシア火山地質災害対策局のホームページ“Kebencanaan Geologi”（<http://www.vsi.esdm.go.id/>）、ダーウィン VAAC のホームページ“BoM-Darwin Volcanic Ash Advisory Centre”（<http://www.bom.gov.au/info/vaac/>）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。